

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-15 美と健康	20130587002101	●美と健康 II(先端医 療・再生医 療)	和	E	朝比奈 泉	1年,2年,3年,4年	前期	火4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-15 美と健康	20130587002501	●美と健康 II(食の科 学)	和	E	齋藤 俊 行	1年,2年,3年,4年	後期	月4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-15 美と健康	20130587002901	●美と健康 II(口と疾 患)	和	E	吉村 篤 利	1年,2年,3年,4年	前期	火3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-15 美と健康	20130587003301	●美と健康 II(口と健 康)	和	E	村田 比 呂司	1年,2年,3年,4年	後期	火3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-15 美と健康	20130587003701	●美と健康 II(審美)	和	E	渡邊 郁 哉	1年,2年,3年,4年	後期	火4	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-15 美と健康**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587002501	科目番号	05870025
授業科目名	●美と健康II(食の科学)		
編集担当教員	齋藤 俊行		
授業担当教員名(科目責任者)	齋藤 俊行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	齋藤 俊行,北村 雅保,宮崎 敏博,久松 徳子		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	syto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL	095-819-7662		
担当教員オフィスアワー	水曜日17-18時		
授業のねらい	<p>食べることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入りにある。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。</p>		
授業方法(学習指導法)	<p>講義、セミナー以外に、テーマを自分で考えあるいは与えられ、それについて調べてプレゼンテーションとディスカッションを行なう。受講人数によって方法は異なってきます。</p>		
授業到達目標	<p>食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。</p>		
	<p>食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について、また栄養学、予防医学について。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔咽頭の解剖学1~4 (宮崎) 2) 口腔咽頭の機能1~4 (久松) 3) 食と健康1~4 (北村) 4) 口腔と肥満1~3 (齋藤) <p>参考歯学部ホームページ 【口腔保健学：齋藤, 北村】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_oh.html 【細胞生物学：宮崎】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_cb.html 【特殊歯科総合治療部：久松】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_gcsd.html</p>		
	回	内容	
	1	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学1 9/30 食に関連する人体の構造概論	
	2	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学2 10/7 咀嚼と嚥下に関わる構造	
	3	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学3	

授業内容		10/21 歯と唾液腺の構造	
	4	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学4 10/28 味覚と嗅覚に関わる構造	
	5	久松徳子：口腔咽頭の機能1 11/11 嚥下って何？	
	6	久松徳子：口腔咽頭の機能2 11/18 嚥下が悪くなると何が問題？	
	7	久松徳子：口腔咽頭の機能3 11/25 嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？	
	8	久松徳子：口腔咽頭の機能4 12/2 嚥下食って何？	
	9	北村雅保：食と健康1 12/9 食品の機能性～食べる者と食べられる物	
	10	北村雅保：食と健康2 12/16 日本人の食事摂取基準と保健機能食品制度	
	11	北村雅保：食と健康3 1/6 特定保健用食品各論～むし歯と食品	
	12	北村雅保：食と健康4 1/20 特定保健用食品各論～生体調節機能	
	13	齋藤俊行：口腔と肥満1 1/21 口腔疾患とその予防（この日のみ振替で火曜日）	
	14	齋藤俊行：口腔と肥満2 1/27 口腔と生活習慣病	
	15	齋藤俊行：口腔と肥満3 2/3 食と肥満	
	16	予備	
	キーワード	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学	
	教科書・教材・参考書	特にありませんが資料配布を行いません。	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。		
受講要件（履修条件）	特になし。		
本科目の位置づけ	医歯薬学系以外の学部生の教養教育		
学習・教育目標	アクティブラーニングの実践		
備考（URL）	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html		
備考（準備学習等）			



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-15 美と健康**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587002101	科目番号	05870021
授業科目名	●美と健康II(先端医療・再生医療)		
編集担当教員	朝比奈 泉		
授業担当教員名(科目責任者)	朝比奈 泉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	朝比奈 泉,住田 吉慶,縣 秀樹		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)	1, 2年次		
担当教員Eメールアドレス	asahina@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	顎・口腔再生外科学分野		
担当教員TEL	095-819-7701		
担当教員オフィスアワー	17~19時		
授業のねらい	再生医療の基礎となる生物の基本的構成・発生のしくみ、幹細胞について理解し実際に開発が進められている口腔領域の先端医療・再生医療についての知識を深める。		
授業方法(学習指導法)	それぞれのテーマについて、パワーポイントを使った概論的講義をおこなった後、いくつかの小テーマについてグループ討議を行い、発表する。		
授業到達目標	生物の構造、発生の基本的知識を身につけ、幹細胞、再生医療について説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション：授業の進め方、授業内容の概説、授業に対する準備法、成績評価法について説明する 担当：朝比奈	
	2	生物の構造とでき方の仕組み（1回目；講義）：細胞からなる生物の階層性、細胞の構造、遺伝子の構造と機能、生物の発生について 担当：朝比奈	
	3	生物の構造とでき方の仕組み（2回目；グループ討議と発表） 担当：朝比奈	
	4	組織工学とは何か（1回目；講義）：Tissue Engineering Triad、人工材料の性質と作り方について 担当：西村	
	5	組織工学とは何か（2回目；グループ討議と発表） 担当：西村	
	6	幹細胞の不思議（1回目；講義）：幹細胞の種類、胎性幹細胞、性幹細胞、iPS細胞について 担当：朝比奈	
	7	幹細胞の不思議（2回目；グループ討議と発表） 担当：朝比奈	
	8	唾液腺の再生医療（1回目；講義）：唾液腺の構造、機能、発生、疾患、再生法について 担当：住田	
	9	唾液腺の再生医療（2回目；グループ討議と発表） 担当：住田	
	骨組織の再生医療（1回目；講義）：骨組織の構造、機能、発生、再生法について 担		

	10	当：西村
	11	骨組織の再生医療（2回目；グループ討議と発表） 担当：西村
	12	粘膜・皮膚の再生医療（1回目；講義）：粘膜・皮膚の構造、機能、発生、疾患、再生法について 担当：住田
	13	粘膜・皮膚の再生医療（2回目；グループ討議と発表） 担当：住田
	14	歯の再生医療（1回目；講義）：歯の構造と機能、発生、再生法とデンタルインプラントについて 担当：朝比奈
	15	歯の再生医療（2回目；グループ討議と発表） 担当：朝比奈
	16	総合討論
キーワード	再生医療・幹細胞・組織工学・発生・成長因子	
教科書・教材・参考書	参考書：再生医療叢書 全8巻 日本再生医療学会監修 朝倉書店	
成績評価の方法・基準等	最終レポート50点、グループ討議における発表50点、計100点満点で60点以上を合格とする。 筆記試験は行わない。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ	再生医療の知識を習得することを通じて、生涯、生命科学を中心とした科学全般に関心を持ち続ける基盤を形成する	
学習・教育目標	生命科学に関心を持つ	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	グループ討議に入る前に、与えられテーマに関する下調べを行う	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-15 美と健康**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587002901	科目番号	05870029
授業科目名	●美と健康II(口と疾患)		
編集担当教員	吉村 篤利		
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 篤利		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 篤利, 柳口 嘉治郎, 黒木 唯文		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)	工・環		
担当教員Eメールアドレス	ayoshi@(吉村), kurofumi@(黒木), yanagi@(柳口)		
担当教員研究室	歯周病学准教授・講師室(吉村), 歯科補綴学教員室(黒木), 齲蝕学准教授・講師室(柳口)		
担当教員TEL	819-7682(吉村), 819-7693(黒木), 819-7678(柳口)		
担当教員オフィスアワー	9:00-17:00		
授業のねらい	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。		
授業方法(学習指導法)	講義形式、小グループ討論形式、全体発表		
授業到達目標	口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について説明できる。		
授業内容	1回目 顎関節障害・咀嚼障害(1) (黒木唯文) 2回目 顎関節障害・咀嚼障害(2) (黒木唯文) 3回目 顎関節障害・咀嚼障害(3) (黒木唯文) 4回目 顎関節障害・咀嚼障害(4) (黒木唯文) 5回目 齲蝕の原因と症状(1) (柳口嘉治郎) 6回目 齲蝕の原因と症状(2) (柳口嘉治郎) 7回目 齲蝕の治療と予防(1) (柳口嘉治郎) 8回目 齲蝕の治療と予防(2) (柳口嘉治郎) 9回目 齲蝕の治療と予防(3) (柳口嘉治郎) 10回目 歯周病の症状と治療(1) (吉村篤利) 11回目 歯周病の症状と治療(2) (吉村篤利) 12回目 歯周病の症状と治療(3) (吉村篤利) 13回目 歯周病の症状と治療(4) (吉村篤利) 14回目 歯周病の症状と治療(5) (吉村篤利) 15回目 歯周病の症状と治療(6) (吉村篤利)		
キーワード	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	レポートなどの提出物、口頭試問、発表態度		
受講要件(履修条件)	開講された講義の3分の2以上に出席している者		

本科目の位置づけ	モジュールIで得られたヒトとそれを取り巻く環境についての知識を基に、代表的な口の疾患の予防法、治療法について学ぶ。
学習・教育目標	口の健康の増進を図るために必要な顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病についての知識を習得することを教育目標とする。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	モジュールIで学習した内容は、復習しておくこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-15 美と健康**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587003301	科目番号	05870033
授業科目名	●美と健康II(口と健康)		
編集担当教員	村田 比呂司		
授業担当教員名(科目責任者)	村田 比呂司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村田 比呂司, 鮎瀬 卓郎, 小山 善哉, 細矢 由美子		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生(クラス等)	工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	村田：hmurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	病院本館8階839室		
担当教員TEL	(内線) 村田:7690; 鮎瀬:7713; 細矢:7673; 小山:7679		
担当教員オフィスアワー	村田：水17:00～18:00		
授業のねらい	義歯による口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法について学ぶ。また、加齢に伴う歯の色の変化や原因を知り、生涯健康で美しい歯を維持するための知識を習得する。東日本大震災での歯科医療支援活動についての意見交換も行う。		
授業方法(学習指導法)	スライドやプリントならびに手鏡などを使用し、講義形式で行う。		
授業到達目標	超高齢社会における義歯の役割および重要性、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法、加齢に伴う歯の色の変化や原因、健康で美しい白い歯を維持するための方法、災害時での歯科医療支援活動についての重要性等を説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	義歯のいろいろ(村田)	
	2	義歯と口腔および全身の健康(村田)	
	3	義歯の材料工学(村田)	
	4	老年歯科総論(村田)	
	5	老年歯科各論(村田)	
	6	睡眠に関する基礎的な生理機能(鮎瀬)	
	7	睡眠時無呼吸症候群の病態の理解(鮎瀬)	
	8	睡眠中の口腔の生理的機能の変化(鮎瀬)	
	9	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態(鮎瀬)	
	10	睡眠障害が関連する歯科的疾患の最新の治療法(鮎瀬)	
	11	歯の色と歯の変色(細矢)	
12	歯の色の比較分析法と白い歯(細矢)		

	13	東日本大震災・福島県での歯科巡回支援活動から学ぶ（小山）
	14	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（1）（小山）
	15	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（2）（小山）
	16	
キーワード	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・歯の色・変色歯治療・災害支援	
教科書・教材・参考書	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯—科学的根拠に基づく知識と治療法（ブルーボックス、早川巖）を参考にしてください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験および授業への貢献度により評価します。なお定期試験は記述式とします。	
受講要件（履修条件）	全授業の2/3以上の出席、および定期試験を受けないと成立しません。	
本科目の位置づけ	自身および家族の健康増進にも役に立ちます。	
学習・教育目標	口腔の健康の重要性および歯科医療を理解することを目的とします。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-15 美と健康**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587003701	科目番号	05870037
授業科目名	●美と健康II(審美)		
編集担当教員	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 郁哉, 井川 惺亮, 平野 明喜, 田上 直美, 池田 毅		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生(クラス等)	工環2年		
担当教員Eメールアドレス	ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科生体材料学分野		
担当教員TEL	095-819-7656		
担当教員オフィスアワー	15:00 - 17:00		
授業のねらい	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業方法(学習指導法)	学生参加型授業		
授業到達目標	医療を含め、審美について理解を深める		
授業内容	回	内容	
	1	美とは何か(井川)	
	2	美の歴史(1)(井川)	
	3	美の歴史(2)(井川)	
	4	美の表現(1)(井川)	
	5	美の表現(2)(井川)	
	6	顔面の形態異常(平野)	
	7	審美材料(1)(渡邊)	
	8	審美材料(2)(渡邊)	
	9	審美材料(3)(渡邊)	
	10	審美修復(1)(田上)	
	11	審美修復(2)(田上)	
	12	審美修復(3)(田上)	
	13	ホワイトニング(1)(池田)	

	14	ホワイトニング(2) (池田)
	15	ホワイトニング(3) (池田)
	16	
キーワード	美の歴史、美の表現、審美	
教科書・教材・参考書	未定	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。	
受講要件 (履修条件)	特になし	
本科目の位置づけ	美へのこだわりのための推進力となる	
学習・教育目標	美と健康についての情報を広く提供し、健康の増進を図るための必要な知識を習得する。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		

